

あなたの輝きを生かしてください！

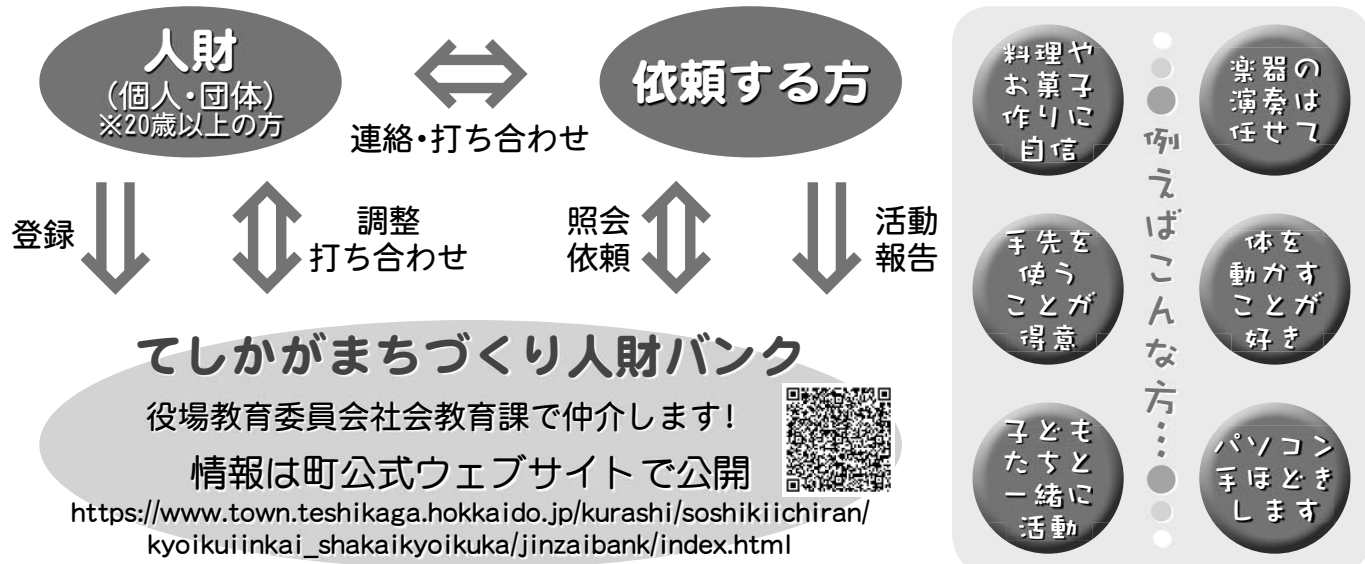
# てしかがまちづくり人財バンク

新規登録者募集中！

地域の方の趣味の活動やまちづくり活動の役に立ちたい 活動のお手伝いをしたい

## 経験 知識 技術

町では「てしかがまちづくり人財バンク」を行っています。  
皆さんがお持ちの経験や知識、技術などを地域活動やまちづくり活動に生かしたいという個人やグループの登録を受け付け、力を必要としている地域の皆さんとつなぐ制度です。この制度により、人財のネットワーク化や相互交流を進め、まちづくりの担い手育成と活用を図っていきます。  
さまざまな力をお持ちの方が多く弟子屈町。あなたの登録をお待ちしています。



▶人財バンクへの登録を希望される方／申請用紙に必要事項を記入し、教育委員会社会教育課に提出してください。申請用紙は教育委員会社会教育課にあるほか、町公式ウェブサイトからダウンロードすることもできます。

※本町にとって人は「財産」であるため「人の財産」という意味を込めて、人材ではなく「人財」としています。

問い合わせ先／教育委員会社会教育課社会教育係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 8 (課直通)

## てしかが観光塾を開催



講演する山田桂一郎さん

「てしかがの今とこれから」と題し、令和元年度 てしかが観光塾が11月8～10日の3日間、川湯ふるさと館で行われました。

同塾は、てしかがえこまち推進協議会が主催するセミナー。「観光を担う人材を育成する」ことを目的に毎年本町で開催されており、今年で12回目。道内のみならず、東京、和歌山など全国各地からおよそ35人の塾生が参加しました。

講師には、国土交通省認定観光カリスマで本町のまちづくりアドバイザーも務める山田桂一郎さんをはじめ、国内外で地域振興や人口成熟問題などに関し精力的に活動している(株)日本総合研究所 調査部 主席研究員の藻谷浩介さん、

阿寒湖温泉地区で人気ホテルを運営する鶴雅ホールディングス代表取締役 大西雅之さんなど、豪華な講師陣を迎え、基調講演や講座を実施。集まった塾生と、当日聴講に来られた町民の皆さんも熱心に耳を傾けていました。

また、1日目の夜には、聴講だけではなく、意見交流の場として名湯の森きたふろうを会場に、参加者交流会を開催。町内の飲食店が地元の食材を使った料理を提供し、参加者は食事を楽しみながら交流を深めました。2日目には「川湯温泉街を歩こう 見て・聞いて考える」と題してフィールドワークを開催。川湯温泉街の今を見て温泉街の復興について考えました。3日目には、グループ毎に意見を交換。ワールドカフェ形式の自由な会話を通し、参加者同士3日間の「気づき」や「発見」を共有しました。

## 「心を育てるおうまごはん」佐々木十美さん講習会を開催

食・文化部会

てしかがえこまち推進協議会食・文化部会(木名瀬佐奈枝部会長)主催の「佐々木十美さん講習会～心を育てるおうまごはん～」を10月12日、川湯ふるさと館で開催しました。

講師は置戸町食のアドバイザー、佐々木十美さん。管理栄養士として長年、置戸町の給食作りを担当されていた佐々木さんは、添加物を使わない、旬のもの・地のものを使った食事作りの大切さを、全国で講演されています。弟子屈での講習は、一昨年の「カレー作り」、昨年の「おにぎり作り」に続いて3回目。今回は家庭でも作りやすいドライカレーの作り方を学びました。細かく刻んだ野菜と摩周ポークを使ったドライカレーは、スパイスを使った本格的な味。ご飯のほか、うどんやパンなどともよく合い、参加した皆さんから「家でも早速作ってみたい」などの声が多く聞かれました。また、講習の中で参加者の関心が高かった、調味料について学ぶミニ講座も開催。醤油やみりん、塩などさまざまな調味料について、実際に味わいながら学びました。



佐々木さんのお話に聴き入る皆さん

## こども星空観察会を開催

人財育成部会

てしかがえこまち推進協議会人財育成部会(萩原寛暢部会長)は、町内の小中高生を対象にした「こども星空観察会」を10月22日、摩周湖第一展望台で開催。町内の小中学生20人が参加しました。

摩周湖第一展望台は、周囲に遮るものや街灯がないため、観光客向けの星空観察ガイドツアーの開催場所としても利用されている星空スポットです。

この日星空ガイドを務めた(株)ナショナルパークツリズムてしかが(中嶋康雄代表取締役社長)の山中拓也さんの解説を聞きながら、バスで展望台に向かいましたが、残念ながら曇り空で星はほとんど見えませんでした。それでも暗闇の向こうに浮かび上がる摩周湖の姿や、時間が経つと急に霧に覆われて視界が真っ白になっていく様子に、子どもたちは歓声をあげていました。夜の摩周湖に出かけるという普段できない貴重な体験になったのではないのでしょうか。

行事として星空観察をするうえで日程は決めざるを得ないので、こうして天候に恵まれないこともありますが、町内は星空観察に適した場所がたくさんありますので、この行事をきっかけに、日常から夜空を見上げてもらえるよう願っています。



貴重な体験を通して星空の魅力を再発見

問い合わせ先

てしかがえこまち推進協議会事務局(役場観光商工課観光振興係) ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)